

## 2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	柱RC梁S混合構造設計小委員会	主査名：宮内靖昌 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会)	委員長名：緑川光正 主査名：倉本 洋
設置期間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	『鉄筋コンクリート柱・鉄骨梁混合構造設計・施工指針(案)』を作成・刊行する 初年度：最近の知見を整理し、柱梁接合部の終局耐力式等を検討する。 2年度：指針(案)の原案を作成する。 3年度：原案を作成する。また、大会PDにて原案を公表し、意見を求める。 4年度：指針(案)を刊行する。刊行に際しては、講習会を実施する。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 無	
	主査：宮内靖昌(大阪工業大学) 幹事：鈴木英之(安藤・間) 委員：北野敦則(前橋工科大学)、近藤祐輔(熊谷組)、堺純一(福岡大学)、成瀬忠(前田建設)、西村泰志(大阪工業大学)、福原武史(竹中工務店)、山野辺宏治(清水建設)	
設置WG (WG名:目的)		
2015 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初の計画通り委員会を開催し、指針作成の方針、指針の適用範囲および最近の知見等について議論した。
委員会活動の問題点・課題	1. 2016 年度は委員会の開催回数を増やし、指針原案の作成ピッチを上げる予定である。